

アオモンイトトンボ

オスは翅胸の黄緑色と腹端の青い斑紋が特徴のイトトンボの仲間です。メスは、未熟なうちは翅胸が濃いオレンジ色で、成熟すると褐色がかりますが、オスと同じ色合いのものもいます。

主に水生植物が茂る池や沼、緩い流れなどに生息し、5月から9月ころまで見られます。

産卵はメスが単独で、水面から突き出た水草の茎などに産卵します。

富士市での現状

主に平地の抽水植物が生育する池沼やため池などで見られます。市内の生息地での個体数は少なくありませんが、富士川河口や浮島地区の池沼にほぼ限られるようです。



アオモンイトトンボを確認したメッシュ

